

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
南千里丘地区

平成28年3月

大阪府摂津市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	市内鉄道乗降客数	人/日	76,700	80,000	77,337	確定 見込み ●	△	あり なし ●	83,465	H27年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	摂津市駅の乗降客の増加により、市内鉄道乗降客数が増加した。
指標2	定住人口	人	230	2,230	1,728	確定 見込み ●	△	あり なし ●	3,194	H27年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	南千里丘地区の土地利用形態が完成したため、定住人口が増加した。
指標3	公共施設利用者	人/月	9,000	15,000	9,000	確定 見込み ●	△	あり なし ●	11,650	H27年4月	△	目標値に体育館利用者数が見込まれていたため <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	施設の情報発信の強化や周辺施設と連携したイベント等の実施により、施設利用者数が増加した。
指標4	レクリエーション開催回数	回/年	6	10	10	確定 見込み ●	○	あり なし	12	H27年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民参画型のイベントが周辺住民に根付き、定着してきた。

事後評価シート 様式2-1及び様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	摂津市駅乗降客数	人/日	0	/	5,768	確定 見込み ●	/	/	12,056	H27年8月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	南千里丘地区の土地利用形態の完成によって、周辺人口が増加し、摂津市駅乗降客数が増加した。
その他の数値指標2	地区内新規雇用者数	人	0	/	340	確定 見込み ●	/	/	692	H27年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	南千里丘地区の土地利用形態の完成によって、新たな施設・サービス形態が立地し、新規雇用者数が増加した。
その他の数値指標3	公共施設機能再配置数	件	0	/	5	確定 見込み ●	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/

事後評価シート 様式2-1及び様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	新たな都市拠点の魅力づくり	街の新たな魅力を創造・発信するため、南千里丘夕涼み会やクリスマスバルの開催、また境川親水空間を利用したチューリップアートやろうそくファンタジーなどのイベントを実施した。	行政、市民、事業者が連携した街の魅力向上イベントとなり、多くの市民が参加した。	今後、市民が主体となり、継続的なイベント活動等が必要と思われる。
	公共公益施設の利用促進	施設のホームページが開設され、イベント等のお知らせや施設を利用している団体の活動紹介を行っている。	ホームページをみて活動に興味を持たれる方も多く、市民にとって憩いと集いの場になっていると思われる。	市民の積極的な活動への参加が必要と思われる。
	都市型居住環境の向上	緑化率や壁面後退を指定した地区計画や、看板の大きさや色合いなどを制限した都市景観形成地区に指定している。	良好な街並みが維持保全されている。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	鉄道による地域分断及び踏切渋滞	阪急京都線連続立体交差事業の実現に向けて、都市計画決定の準備を進めている。	鉄道の高架化に伴う側道や交差街路の整備についての検討を行った。	連続立体交差事業の都市計画決定、事業認可を確実に進めていくことが必要。
	都市計画道路未整備による交通ネットワークの欠如 交通安全対策	阪急京都線連続立体交差事業の実現に向けて、都市計画決定の準備を進めている。(鉄道の高架化により、交差する都市計画道路が整備されるため)	鉄道の高架化に伴う側道や交差街路の整備についての検討を行った。	連続立体交差事業の都市計画決定、事業認可を確実に進めていくことが必要。
	端末交通の定時制不良	阪急京都線連続立体交差事業の実現に向けて、都市計画決定の準備を進めている。(鉄道の高架化により、渋滞の原因となっている踏切が除去されるため)	鉄道の高架化に伴う側道や交差街路の整備についての検討を行った。	連続立体交差事業の都市計画決定、事業認可を確実に進めていくことが必要。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項